

2023 年度のまとめおよび 2024 年度の事業と運動のすすめ方(案)

はじめに

昨年の新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行を受け、感染対策を継続しながらも地域での活動は徐々に活発化してきました。しかし、物価高騰で実質賃金は減少し、経済的格差が拡大することにより一人ひとりの健康権は大きく脅かされています。

ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとイスラム組織ハマスの武力衝突が続く国際情勢の中、国内では防衛力強化の動きが強まり平和が危機にさらされています。

たじま医療生活協同組合は、一人ひとりのいのちと健康を守るため、創意工夫をしながら事業と運動を展開してきました。

人口減少、少子高齢化が進行する中、世代や組合員の枠を超えた多様な参加により、誰ひとり取り残さない安心のネットワークづくりをすすめます。

2023 年度のまとめ

誰もが健康で安心して住みつづけられるまちづくりをすすめます

2023 年度の重点方針

1. 健康で安心して暮らせる地域づくりをすすめます
2. 医療と介護の連携により持続可能な事業活動をすすめます
3. くらしと平和を守る活動をすすめます
4. 地域包括ケアを担う人づくりをすすめます

1. 健康で安心して暮らせる地域づくり

(1) 組織 4 課題（仲間ふやし、出資金ふやし、班づくり、担い手づくり）

- ① 生協強化月間において、本部事務局に月間推進本部を置き、「強化月間がんばろうニュース」を発行して各支部や事業所等での取り組みの成果を紹介するとともに、ろっぽう通信に増資のお願いチラシを折り込みました。仲間ふやし統一行動はできませんでしたが、強化月間スタート交流集会を開催し、仲間ふやしの成功事例を発表し支部の交流を図りました。

2024 年 1 月末現在で組合員は加入 93 人（年間目標の 37.2%）、脱退 57 人、純増 36 人。出資金は増資 197 万 4 千円（同 79.0%）、減資 144 万 4 千円、純増 53 万円。仲間ふやしは 2 支部、出資金ふやしは 5 支部が年間目標を達成しましたが、仲間ふやしは伸び悩んでいます。

- ② 班づくりは、前年度から 3 班減って 15 班になりました。
- ③ 担い手づくりは、各支部とも組合員の高齢化等で勧誘に苦慮しましたが、前年度から 3 人増え 116 人となりました。

- (2) 組合員活動については、新型コロナウイルスが感染症法上 5 類になったことで、全体的に支部活動が昨年度より増えました。支部では、名所探訪、ウォーキング、講演会、文化作品展などが実施されました。支部ニュースを発行する支部も増えました。グラウンド・ゴルフ大会は春秋 2 回実

施し延 128 人が参加しました。

- (3) 4 年ぶりに健康まつりを開催し、500 人を超える参加者で賑わいました。
- (4) やぶ支部と朝来支部は、アンケート等により組合員の要望などを取りまとめ、医療・福祉・高齢者支援などの要望書をそれぞれの市に提出し、市長交渉を行いました。養父市・朝来市では带状疱疹ワクチンの助成などが実現しました。
- (5) ぐらしの助け合いの会「なんなっと」は、コロナ禍の中でも地域の「困った」を受け止め新規利用を増やしました。昨年 4 月に発足した朝来支部のなんなっとを支援し、活動の輪を広げました。車椅子操作研修会を開催し、支援者のスキルアップを図りました。コロナ禍で休店していた喫茶店を再開しました。支援者の高齢化が課題となっています。
- (6) 送迎ボランティアは、高齢化等によるスタッフ不足が大きな課題となっています。抱っこボランティアは、新型コロナウイルス感染症が収束しないため、2020 年 4 月から活動休止が続いています。
- (7) たじま医療生協主催の「健康チャレンジ」には、昨年を上回る 262 人が参加しました。フレイル予防の取り組みとして、同スタート集会での運動のほか栄養実習を行いました。コロナ禍で中止していた「まちかど健康チェック」を再開しました。兵庫県生協連主催の「ひょうごまるごと健康チャレンジ」には 92 人が参加しました。
- (8) ろっぽう通信では、組合員参加型の紙面づくりをすすめ、健康まつりや支部活動、委員会活動や事業所の様子・内容を紹介しました。
- (9) 診療所、介護事業所および組合員のつどいの場等の施設整備については、医療・介護事業の人員体制の課題などにより進展はありませんでした。

2. 医療と介護の連携による持続可能な事業活動

- (1) ろっぽう診療所
 - ① CR（画像診断システム）の更改により画像処理スピードを高めるとともに、AI（人工知能）による胸部 X 線読影支援システムの導入により、異常の見落とし防止を強化しました。健診業務については、自動判定システムの導入により判定の効率化を図りました。
 - ② 病状に合わせた診療間隔の適正化をすすめました。
 - ③ 介護施設との連携により訪問診療件数が増加しました。
 - ④ 2024 年 9 月末で所長医師が退職予定のため、後任確保の取り組みをすすめています。
- (2) 介護事業所えがお
 - ① 居宅介護支援事業所は、新入介護支援専門員の育成により職員体制を維持し、事業所加算Ⅲの継続を図りました。
 - ② 訪問看護ステーションは、看護師不足が続く中、ICT（情報通信技術）を活用し医師、居宅介護支援事業所、スタッフとの連携強化、業務の効率化を図りました。
 - ③ ヘルパーステーションは、積極的に新規受入れを行うことにより目標利用者数を確保するとともに、外部研修等の実施により職員のスキルアップを図りました。
 - ④ 訪問入浴サービスは、老朽化により不具合が多かった入浴車を更新し、安定的に業務を遂行しました。
- (3) 豊岡病院をはじめとする医療機関や介護事業所との連携をすすめ、地域に貢献し信頼される事業活動を展開しました。

3. 暮らしと平和を守る活動

- (1) 憲法改悪反対、大軍拡・大増税反対、介護保険制度の改善、現行健康保険証の存続、18歳までの医療費窓口負担無料化、高齢難聴者補聴器購入補助などの署名に取り組みました。
- (2) 能登半島地震義援金募金に取り組みました。
- (3) 原水爆禁止国民平和大行進に参加しました。
- (4) 地域医療をまもる但馬の会の事務局を務め、日高医療センターの入院病床削減による診療所化に反対する陳情署名などに取り組むとともに、会報発行により情報発信を行いました。

4. 地域包括ケアを担う人づくり

- (1) 職場において地位や優位性などを背景にしたハラスメント事案が発生し、事実認定調査に基づき対処しました。
- (2) 職員研修会や通信教育の積極的な受講を推奨し、医療生協・民医連の職員としての能力・資質の向上を図りました。
- (3) eラーニング（インターネットを利用した学習）も活用しながら、事業所単位でスキルアップを図る学習会や接遇研修会等を実施しました。
- (4) 人材を確保するためハローワークや民間紹介業者への求人登録、ろっぼう通信やホームページでの求人掲載などを行いました。業者紹介手数料の負担が課題として残りました。

2024年度の運動方針

誰もが健康で安心して住みつづけられるまちづくりをすすめます

2024年度の重点方針

1. 健康で安心して暮らせる地域づくりをすすめます
2. 医療と介護の事業基盤を整え持続可能な事業活動をすすめます
3. 暮らしと平和を守る活動をすすめます
4. 地域包括ケアを担う人づくりをすすめます

1. 健康で安心して暮らせる地域づくりをすすめます

- (1) たじま医療生協の将来像を見据え、全支部が目標を掲げて組織4課題に取り組みます。
- (2) 人口減少下において、次世代への引き継ぎを進める組合員活動を展開します。
- (3) たまり場づくりを通じて、但馬全体で支部・班活動を活性化させます。
- (4) 地域の「困った」に応えるため、「なんなっと」の支援者を増やして若返りを図り、支部と連携して利用地域の拡大を図ります。ろっぼう通信の「なんなっとコーナー」を通じて活動をPRします。喫茶店を継続し、通院者等に憩いの場を提供します。
- (5) 高齢化等で不足している送迎ボランティアの人員確保に努めるとともに、安全運転の学習会を実施します。抱っこボランティアは、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら活動の再

開をめざします。

- (6) 組合員健診の推進、「健康チャレンジ」「まちかど健康チェック」の実施、保健学校の開催、「ひょうごまるごと健康チャレンジ」への参加などにより、地域まるごと健康づくりをすすめます。
- (7) 医療・福祉施策の充実を図るため、行政との懇談を継続して実施します。
- (8) 診療所、介護事業所および組合員のつどいの場等の施設整備については、建設推進委員会を中心に組合員や職員から意見を聴取しながら整備計画の検討をすすめます。

2. 医療と介護の事業基盤を整え持続可能な事業活動をすすめます

- (1) ろっぼう診療所は、所長医師をはじめとした安定した医師体制の早期確立を図ります。
- (2) 介護事業所は、利用者や家族が、安心・安全・安楽に在宅生活が送れるように、職員確保を図り、当事者に寄り添った看護、リハビリ、介護の提供をすすめます。
- (3) 法人内に診療所と 4 つの介護事業所を持ち、医療と介護の両面で健康と暮らしを支えることのできる総合力をより発揮させるため、相互のコミュニケーションを深め、業務連携を強化します。
- (4) 行政、社会福祉協議会、他の医療機関・介護事業所などと連携し、地域の要望に応える事業活動を展開します。

3. くらしと平和を守る活動をすすめます

- (1) 組合員や地域住民のくらしを守るため社会保障充実、現行健康保険証の存続、脱原発、被災者支援の活動をすすめます。
- (2) 憲法改悪を許さない署名、学習会、核兵器を廃絶し平和な社会をつくる運動に取り組みます。
- (3) 気候危機問題、エネルギー問題、生活スタイルや経済のあり方などについて、SDGsの視点から考え行動します。
- (4) 地域医療をまもる但馬の会の事務局を担い、公立病院の外来・入院機能を維持するとともに地域医療構想の実施に反対する取り組みをすすめます。
- (5) 高齢化がすすむ豊岡市被爆者の会について、被爆二世の方も含めて支援を行います。

4. 地域包括ケアを担う人づくりをすすめます

- (1) ハラスメント事案を二度と起こさないため、管理体制など環境改善を図ります。職員が事業所や職種の壁を越え、個人を尊重し、多様な価値観を認め合う「心理的安全性」のある職場づくりをすすめます。
- (2) 職員が組合員との共同のいとなみを通して成長していける組織文化を醸成します。
- (3) 医療生協・民医連の職員としての能力・資質の向上を図るため、職員育成指針に基づき各種制度教育や研修をすすめます。
- (4) 高校生1日医師体験の受け入れをすすめるとともに、地域医療研修、家庭医の教育診療所としての体制等を整えます。
- (5) 全国の取り組みを事業や活動に活かすため、情報誌「c o m c o m」（医療福祉生協連）、「いつでも元気」（民医連）の購読を推進します。